

読みの習得と発達性ディスレクシア :脳機能の観点から

講 師

関 あゆみ先生
(北海道大学)

日時・会場

2026年3月14日(土)
10:00-12:00
Zoomによるオンライン開催

参加
無料

概 要

発達性ディスレクシアは限局性学習症の一型であり、文字や単語の読みの習得に困難が認められます。発達性の障害である発達性ディスレクシアを理解する上では、完成された読みに関わる認知機能や脳領域ではなく、読みの習得に必要な認知機能・脳領域を考える必要があります。また、読みの習得は各言語の書記体系の特徴の影響を受けます。読み習得の段階的発達や書記体系の影響を踏まえ、発達性ディスレクシアと脳機能の関連を概説します。

お申込み

- 言語聴覚士に限らず、どなたでも参加になれます
- 2026年3月12日(木)までに、当センターのHPからお申し込みください

言語運用総合研究センターURL ▶ URL: <https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>



お問い合わせ先

九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター (cslp@lit.kyushu-u.ac.jp)

共催：九州大学文学部・社会連携推進委員会／九州大学人社系協働研究・教育コモンズ

運営：九州大学大学院人文科学研究院附属言語運用総合研究センター

後援：一般社団法人福岡県言語聴覚士会／麻生リハビリテーション大学校

福岡国際医療福祉大学／柳川リハビリテーション学院